



六華の心

酒田市立第六中学校
学校便り 第42号
令和3年2月12日

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

下の表は、「学校評価保護者アンケート」の評価結果を学年ごとと昨年度と比較したものです。表の中の数字は、36号でお知らせしました「学校生活生徒アンケート」同様、A（よく当てはまる）を100、B（まあまあ当てはまる）を70、C（あまり当てはまらない）を40、D（当てはまらない）を0で算出した数字の平均点です。

項 目	1 年	2 年	3 年	全校	R1
1. 学校は一人一人の学力の向上に力を注いでいる。	66	66	69	67	66
2. 学校行事は楽しく充実したものになっている。	79	75	71	76	79
3. 学校は思いやりを大切にし、いじめ防止に力を注いでいる。	69	73	70	70	70
4. 学校はお便りやホームページ等で学校や生徒の情報を適切に伝えている。	78	79	80	79	75
5. 六中생はあいさつや礼儀がきちんとしている。	68	69	70	69	66
6. 六中생は決まりをきちんと守って生活している。	71	70	69	70	65
7. 教職員はお子さんの良さをよく理解し、悩みや相談に適切に応じている。	70	74	72	72	69
8. 教職員は改善すべき点に対してきちんと指導している。	72	76	75	74	70
9. 教職員は保護者の方からの問い合わせや要望に丁寧に対応している。	75	79	79	78	75
10. お子さんの学校生活は充実している。	79	76	77	78	75
11. お子さんは情報機器（携帯、パソコン、ゲーム機など）をけじめをもって使用している。	60	54	53	56	53
12. お子さんは部活動や習いごと積極的に取り組んでいる。	84	78	73	78	80
13. お子さんは家庭学習に計画的に取り組んでいる。	60	55	63	60	57

回収率 93.7%(昨年度 90.3%)でした。保護者の皆様からご協力いただき、ありがとうございます

今年度は、新型コロナウイルス感染症により5月半ばまで臨時休業が続き、学校再開後も感染症対策を講じながら、制限の中で授業、行事、部活動等を行ってきました。そのような中で、昨年度と比較すると13項目中、10項目で向上し、9項目で3ポイント以上の向上がありました。コロナ禍の中での制限された活動となった「2. 学校行事」「12. 部活動や習い事」の2項目ではポイントが下がりました。このことをしっかり受けとめ、今後も感染状況を確認しながら生徒が学校行事、部活動等に充実感が持てるように取り組んでまいります。

本校の課題である「13. 家庭学習」については、他の項目に比べると低いポイントですが、年々向上しており、現在、取り組んでいる「六中スタイル（授業と連動した家庭学習）」が徐々に定着しているように思います。さらに推進し、計画的に家庭学習に取り組める生徒の育成を目指します。また、「11. メディアコントロール」については、保健委員会、各学級、生徒総会、学校保健員会（保護者も含む）などで話し合って作成した「六中スマホネット利用の約束 2020」や「メディアコントロール週間」などの取り組みを通して、スマホネットに依存しない自律した生活ができるよう、家庭と連携して継続的に取り組んでいきます。

【いただいたご意見・ご指摘から】

同じ意見はまとめさせていただき、個人に関わることは割愛させていただきました。また、記名をされてご意見をくださった保護者の方には直接ご回答いたしました。

《授業・学習について》

- ・面談では、学習について励ましつつ指導をしていただきありがたい。
- ・テスト期間中は早く帰ってきてても勉強の仕方がわからないのか、非効率的な勉強をしているように感じる。分からないことを聞ける時間として学校で勉強できる時間を設けてもらえたらと思う。
- ・授業でわからないところをいくら勉強しても自力解決できないでいる。気軽に質問できる場や時間は1日のうちあるのか。もしないのであれば、そういう場を設けてほしい。
- ・部活動の指導等で忙しいとは思いますが、学習でつまづいている子どもを放っておかないよう時間を割いていただけるとありがたい。
- ・勉強がわからない所かあると言っている。放課後とかに教えてもらうことはできないか。

→ 本校は、少人数指導、教育支援員を活用しながら、つまづいている生徒、質問がある生徒には授業に中で個別に対応しております。加えて、質問があれば、休み時間、放課後など、いつでも質問に答えるように心がけております。また、毎週1回、各学年で家庭学習を補うための学習会も行っております。3年生は、それに加え高校入試に向けて希望制の学習会も行っております。生徒同士で教え合ったり、先生に質問したりして意欲的に学習に取り組んでいます。テスト期間に教科毎に質問コーナーを設けて、生徒の質問に答えるという学習会を企画した学年もありました。

普段の放課後であれば、部活動もあり学習会を設定することは難しい状況ですが、質問がある場合は気軽に先生方に声をかけて聞くように生徒に呼びかけるとともに、声をかけやすい雰囲気づくりに努めていきます。学習に関わる貴重なご意見は今後に活かせるように検討してまいります。

《学校生活・ルール・マナーについて》

- ・コロナ禍の中、できる限りのことをさせていただいていると感謝でいっぱいだ。ありがたい。
- ・1年生の時より学校が楽しく、明るく元気に過ごしている。何よりうれしくありがたい。
- ・自分からあいさつしてくれる子たちが多く、気持ちが良い。
- ・保護者同士のあいさつが子供達への見本になってくれれば良いと思う。
- ・責任を持って最後まで指導してください。悪いことをしているのに反省していない子がいる。
- ・学校生活のことは話してくれているので、心配はないが、何か小さいことでも気づきがあれば教えていただきたい。
- ・部活動の顧問の先生がとても熱心に指導してくださっている。反抗期の息子も顧問の先生の言うことなら聞いている。これからもよろしく願いたい。
- ・子どもは担任の先生とたくさん話をするらしく、しっかり聞いてくださってありがたい。
- ・保護者のサイン欄に子どもが自分で書いているのを見逃し、指導をしないのであれば、その欄は必要ないと思う。

→ 今年度も地域の方から六中生のあいさつが良いとお褒めの言葉をいただくことができました。自分から明るく元気に挨拶をする生徒が多くなっていると思います。今後もあいさつを行うことで、気持ちの良い1日がスタートできることを体感できるようにPTAの協力を得ながら、生徒会など生徒の力で明るいあいさつが響く学校にしていきたいと思います。

→ いじめ、生徒のトラブル、問題行動等があった場合は、当該生徒や周りの生徒から状況を聞き、生徒同士はもちろん保護者にも連絡を取りながら解決に向けて取り組んでおります。また、生徒の心の状況を把握するために、日頃のコミュニケーションはもちろん、いじめアンケート、教育相談等を毎学期行っております。一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを再確認し、より一層生徒理解に努めていきます。心配なことがありましたら遠慮なくご相談ください。

→ 保護者にサインを求める場合は、保護者に目を通して確認してほしい場合です。例えば、新型コロナウイルス感染症予防のための毎朝の検温は、生徒の命にかかわることですので、保護者の確認をお願いしたいと思います。

《行事・生徒会活動について》

- ・このような状況で出来る範囲での行事の開催はありがたい。親も子も諦めていた中、運動会も合唱コンもすばらしい思い出になった。
- ・合唱コンクールとてもすばらしかった。指揮者や伴奏者の方たちも頑張って練習してきたと思うので、特に優秀だった指揮や伴奏に特別賞のようなものでもあげられればいいのではと感じた。
- ・修学旅行が中止なっても、子どもたちがそれに換わる大会等を考え、それだけでなく各委員会がクラスマッチと題し、様々な取り組みをお便りで知る度に感心した。先日は、医療機関へのメッセージも大変素晴らしいと思った。
- ・部活と修学旅行に苦しい思いをしている中、仕方ないと思いつつも、外部から修学旅行の話が聞こえてくると、うらやましい気持ちになる。校内で球技大会や校歌を彫る活動をしたそうで、いろいろ考えて下さりありがたいが、それはレクに過ぎない。他校と比較するわけではないですが、もう少し子どもたちの事を考えた判断をしていただきたい。
- ・修学旅行が出来なかったことが心残りだ。現状では卒業式も出来なくなるのではと心配だ。全国で修学旅行の代わりに行っている行事を見ると、うらやましく思う。何か代わりにする行事が出来たらと思う。
- ・修学旅行、日帰りでも近くでもよいのでどこかへ行かせたかった。学校内の行事で終わるのはもったいない。それぞれの事情があり、決めていると思うが、近くでもどこかへ皆と行ったという思い出、経験は心に残ると思う。とはいえ、コロナの中、いろいろと大変な所があり、子供達を見守り指導して頂き、本当にありがたい。
- ・説明会を実施してから修学旅行が中止になり驚いた。しおりを作成する必要は無かったと思う。中止に至った経緯をしっかり説明してほしい。
- ・三年生の三者面談の1回目は、コロナ禍であっても、夏休み前にして欲しかった。夏の大事な期間をもっと本人が自覚を持って過ごせたと思う。
- ・三者面談の前に、進路について相談する機会があれば有り難い。
- ・三者面談の時間を1人あたり10分のところ、もう少し長く時間を設けて頂きたい。親と先生の二者面談もあったらいいと思う。

→ コロナ禍で制限が多い中、今年度も3年生が各行事を引っ張り、全校が一丸となって取り組みました。まだ制限は続いていますが、今年度の反省を活かしながら、行事を通した仲間づくりを大切にしていきたいです。また、いただいたご意見は校内の各行事の実行委員会で検討していきます。

→ 修学旅行につきましては、臨時的修学旅行説明会、お便り、アンケート調査、保護者代表との話し合いなどで協議、検討を重ね、最終的には学校と酒田市教育委員会で協議を行い中止とすることにしました。

中止とした大きな理由は、「感染が心配される地域、すなわち命や安全の保障ができないところに生徒（子ども）を行かせることはできない」加えて、「もし計画通りに実施した場合、各学級に数人、学年全体で相当数の生徒が不参加となることが予想され、本来の修学旅行の目的を達成することができない」ということです。

楽しみにしていた生徒の思いや楽しい思い出をつくってほしいと願う保護者の皆様の思いを考えるとたいへん心が痛みましたが、「苦渋の決断」をしました。保護者の皆様からは、何とか3年生みんなが参加して、楽しい思い出を作れる行事を考えてほしいとの意見もいただきました。

そこで、生徒と教員が知恵を絞りながら、クラスマッチ、木彫りの校歌作成、医療従事者の方へのメッセージなど修学旅行に代わる3年生みんなが参加して、学校や社会に貢献でき、思い出に残る行事を行ってきました。加えて公立高校入試が終わってから、感染予防対策を講じながらクラス毎に県内の日帰り体験活動を企画しております。

生徒、家族、関係者の命と安全安心を最優先に考えて判断し、それに代わる行事を考え対応してまいりました。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

→ 今年度は、5月半ばまで臨時休業が続いたため、1・2年生は4回、3年生は5回の定期テストを例年と違った時期に行っています。1学期が短かったことから、3年生は1・2学期前期期末テストを夏休み後に行い、1・2学期前期の成績と生活の様子、進路等の話し合いのために9月の半ばに三者面談を行いました。心配なこと、相談したいことがありましたら、いつでも学校に連絡をいただければ個別の三者面談、二者面談を設定いたします。なお、いただいた貴重なご意見につきまして今後活かすように検討していきます。

《情報伝達について》

- ・学校の様子や情報を知ることができて学年、学級のおたよりはありがたい。子供との会話にもつながるし、学校の情報もわかる。毎回楽しみにしている。
- ・ホームページの更新が遅い。タイムリーな情報発信をしたらどうか。月別活動計画を毎月更新していただけると確認しやすく助かる。

→ 今後も学校だより「六華の心」、学年・学級だより、生徒指導便り「さかろく」等で生徒の様子をお知らせします。ホームページにも、学校だより、月予定、全校に関わる連絡事項等を掲載し、定期的に更新を行っていきます。

六中レベルアップのために、このようなことに力を入れていきます

アンケート項目(1. 学力向上 11. 情報機器使用 13. 家庭学習)に対して…

- ① 一人ひとりがじっくり考え、表現する場を保障し、「わかった」「できた」という充実感のもてるまとめや振り返りになる授業づくりを進めます。各教科が好きで、主体的に学習に取り組む生徒を育てたいと考えています。
- ② メディア機器の利用が家庭学習の阻害要因となっていないか、自分の大切な家庭での生活時間を見つめ直すとともに、「授業と連動した家庭学習」時間を生活に位置付けていきます。「六中スマホネット利用の約束」を生徒総会で話し合い、みんなで実行していきます。
- ③ 道徳教育や進路学習、話し合い活動、学校行事などを通して、学びの土台となる集団（学習共同体）の信頼関係を大切にしながら「授業」「生活記録ノート」「家庭学習」の学びのサイクルの定着を図る「六中スタイル」進めています。
「授業と連動した家庭学習」となるように各教科で宿題を出し、終わりの会で「今日の家庭学習で取り組むこと」を「生活記録ノート」に記録し、家庭での学習時間、内容を確認し計画を立てます。余力のある生徒は宿題の他にも自学ノートでの家庭学習も継続して行っています。自分で計画的に学習に取り組める生徒の育成を目指しながら、授業と家庭学習の双方から学力向上に取り組んでいきます。

アンケート項目(5. あいさつや礼儀 6. 決まり遵守)に対して…

- ① あいさつ運動を充実させ、自らあいさつができる生徒を増やしていきます。また、公私の区別を付けた言葉遣いを意識させ、思いやりある行動、感謝の気持ちを持って生活できるようにしていきます。
- ② 普段の生活に小集団での話し合い活動（班会、班長会、小さな公づくり）を機能させ、特別活動(学級活動・生徒会活動・学校行事)の中で「自分たちで計画し、実践し、振り返る」課題解決の経験化を進めます。

アンケート項目(3. いじめ防止 7.8.9 教職員の対応)に対して…

- ① 道徳教育・特別活動を更に充実させ、いじめの未然防止を進めるとともに、生徒一人ひとりの日常生活から見てくる人間関係の把握と情報交換を密にし、保護者との連携を図りながら、いじめの早期発見・組織的対応を進めます。
- ② 生徒一人ひとりに寄り添い、家庭との連絡を密にしながら、「自立」に向けた適切な対応や指導に努めていきます。